



ぬかた園地でハート型のあじさい発見

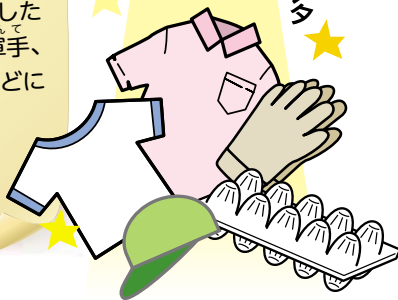
市内のなかまたち 小学校1年生 4,017人 2年生 3,965人 3年生 3,866人 4年生 4,147人 5年生 4,194人 6年生 4,419人 (平成26年5月1日現在)

リサイクルでゴミを減らそう



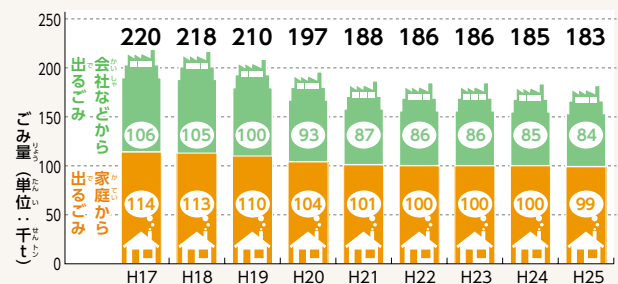
ペットボトルから

みんなが分別して出した
ペットボトルは、服や軍手、
帽子、たまごパックなどに
新しく生まれ変わる
んだって!

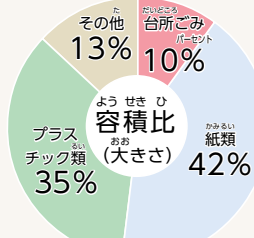
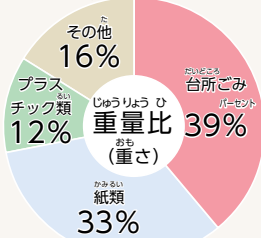


みんなはゴミを捨てる時、分別などを考えていますか?
ふだんの生活から出るゴミの中には、資源(物を作るときに
ざいりょう 材料)として、もう一度使えるものがたくさんあります。
今回の「すくらむ」では、ゴミの出し方やリサイクルの方法
などを紹介します。みんなも協力してね。

ごみ焼却量の移り変わり ごみの焼却量は、年々減少して
おり、平成25年は前年に比べて約2,000t減少しています。



家庭から出るゴミの内訳 家庭から出るゴミの中
には、まだまだたくさんの紙類やプラスチック類が含まれて
います。



ヤタガタ



新しい新聞や雑誌、段ボ
ール、またトイレトペ
ーパーなどにも生まれ変わ
るよ!



1年間に東大阪市内の家や学校、会
社などから出るすべてのゴミの量は、
およそ19万t(資源を含む)です。
しかし、ゴミの中には分別すること
により、燃やすことなく新しい製品や
資源に生まれ変わるものもたくさんあ
ります。
ゴミを分別せずに燃やしてしまう
と、大事な資源を減らしていること
になります。
限りある資源を守るために、できる
ことから始めてみませんか。



東大阪市内にも国の重要文化財に指定されている建物があるのを知っていますか。それは、約300年前の江戸時代に建てられた「鴻池新田会所」(写真④・⑤)です。

鴻池新田会所は、江戸時代に日本有数の商人だったといわれている鴻池家が、開発した新田を管理するた



鴻池新田会所に行ってみよう

06(674)56409 ※入館料が必要

江戸時代ヘタイムスリップ

めに建てた施設です。鴻池新田会所には、現在も「本屋」や「米蔵」など、当時の建物が残っています。特に、本屋の豪華な屋根や広い土間、天井を支える太い柱は、とても迫力があります。また庭園には、木の橋がかかった「弁天池」などがあり、昔ながらの景色を楽しむことができます。

最近では、鴻池新田会所を多くの人に知ってもらうため、さまざまなイベントを開催しています。6月29日には、コスプレフェスタが開催され、たくさんの人たちがお気に入りのキャラクターの衣装に身を包み、ポーズをとったり写真を撮ったりして歴史ある空間で



のひとときを楽しんでいる写真⑥。みなさんも鴻池新田会所を訪れて、江戸時代の空気を感してみませんか？

きれいなまちになあれ

花いっぱいプロジェクト

～八戸の里小の巻～



土の感触を楽しむ子どもたち

八戸の里小学校は、東大阪府をめぐり豊かな自然があるまちにするために「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」に取り組んでいるよ。

6月12日、3年生66人が大阪府八尾土木事務所の方に教わりながら、ポーチ、ユラカ、マリーゴールド、

河内木綿の3種類の花苗を約500個も作ったんだ。みんなはビニールポットに入れる土の量の調節や小さな苗の植替えに苦労していたよ。植え替えた花苗は、花壇に植えられ、大きな花壇になるまでみんなで世話をして、7月中旬に学校の中や学校のまわりの花壇に植付けするよ。10月には、パシフィカの冬の花壇も作る予定なんだって。

八尾土木事務所の速水さんは「毎日の水やりが一番大事。赤ちゃんの苗は倒れたらきちんと起こしてあげて」と、世話のポイントを教えてくれたよ。

この日参加した1組の山田さん



は「植物のことを知れてよかったです。水やりがはるの、来月が楽しみです」と話して、2組の國分健太さんは「植え替えても枯れない植物は不思議だと思いました。大きく育ってほしいです」と話していたよ。



近鉄八戸ノ里ノ瓢箪山上下線とも高架の上で運行

平成22年から工事をしてきた近鉄奈良線(写真⑦)の高架化の工事が今年9月に完成し、21日(日)の始発電車から高架の上での運転が始まります。



電車が高架の上を走ると、たくさんの騒音がなくなります。

平成22年に奈良方面行き(下り線)が先に完成し、すでに高架の上で運転していますが、このたびの大阪難波方面行き(上り線)の完成により、上下線ともに高架化が実現することになります。

これにより、今まで踏切で起こっていた渋滞や事故がなくなると期待されています。

9月21日スタート

近鉄奈良線

開業100周年



昭和32年(1957年)の近鉄電車と瓢箪山駅

古い車両がお店にや100周年記念イベント

近鉄奈良線開業100周年記念イベント「近鉄奈良線マルシェ」が6月14日、近鉄大阪上本町駅で行われました。

東大阪市内を東西に走る近鉄奈良線が、大正3年(1914年)に開業してから、今年で100周年を迎えました。

近鉄奈良線は、大阪の上本町と奈良を結ぶ公共交通機関として誕生し、市民の重要な交通手段として東大阪市の発展に大きく貢献してきました。



100年前に走っていた「デボリー」と同じ色で彩られた特別な車両の中に、東大阪市・奈良市・生駒市の特産品などが並び、会場は新鮮な野菜やおいしいお菓子、ご当地グッズなどを買求める人や珍しい車両の写真を撮る人たちが、にぎわいました(写真⑧)。